

島根県立中央病院で診察を受けられる患者さんへ

当院では、以下の研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、ご自身の試料・情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

ただし、すでに解析を終了している場合には研究データからあなたの情報を削除できない場合がありますので、ご了承ください。

研究題目	薬剤管理指導業務における Robotic Process Automation の活用とその評価
研究期間	当院病院長許可日 ～ 2024 年 3 月 31 日
対象患者	・対象期間①において薬剤管理指導料を算定し、退院した患者さん ・対象期間②において常用薬に含まれない新規成分のハイリスク薬（注射薬は新たに開始された抗がん剤のみ含む）が処方され、調査期間内に薬剤管理指導料を算定し、退院した患者さん
対象期間	①2019 年 6 月 1 日～7 月 31 日および 2021 年 3 月 1 日～4 月 30 日 ②2019 年 12 月 1 日～2020 年 1 月 31 日および 2020 年 2 月 1 日～3 月 31 日
研究機関の名称	島根県立中央病院
実施診療科	薬剤局
研究責任者	横手 克樹
意義・目的	島根県立中央病院では、電子カルテに導入されている RPA（ロボットによる業務自動化：Robotics Process Automation）※を用いて、患者さんへ指導した後に記録する薬剤管理指導記録を効率的に作成できるような取り組みを行っています。 本研究は、RPA を薬剤師業務に活用することによる効果を評価し、今後の業務へ役立てることを目的としています。 ※RPA はこれまで人間が行ってきた定型的なパソコン操作をソフトウェアのロボットが代替して自動化するものです。
研究の方法 （試料・情報の利用 方法・他施設への提 供方法を含む）	電子カルテより、「利用する情報の項目」を収集します。抽出したデータを基に、薬剤師による薬剤指導の有無、常用されている薬、処方された薬を調査します。 RPAを導入する前後で、薬剤師による薬剤指導の件数について調査します。
利用する情報の 項目	常用されている薬の内容、入院中に処方された薬の内容 等
試料・情報の 提供の有無	試料・情報の他施設への提供なし

個人情報の保護	当院における個人情報保護の基本方針に準じて行います。
結果の公表	学術論文として日本病院薬剤師会雑誌等へ投稿する予定です。
備考	

***** お問い合わせ先 *****
島根県立中央病院

研究責任者：薬剤局次長 横手 克樹
（主担当：薬剤局臨床薬剤科 景山 修介）
電話：0853 - 22 - 5111（代表）

事務局：臨床研究・治験管理室
電話：0853-30-6590（直通）
